

神小だより 第4号

令和5年7月5日

夏休みまで残り2週間あまりとなりました。

暖かい空気と冷たい空気の勝負がはじまって1月(ひとつき)ほどが過ぎました。先週は、そろそろ「暖かい空気の勝ちかな」と思わせる雷雨が何度かありましたが、まだしばらく勝負はつかない感じですね。毎年、梅雨末期になると豪雨被害のニュースが心配になります。「線状降水帯」という言葉が当たり前のようになってきました。一方で、今年も猛暑を予感させるニュースが日本各地から届いています。熱中症には引き続き警戒が必要です。

1学期も残すところ2週間あまりとなりました。今週は、7日(金)に授業参観と心肺蘇生法・AED講習会を計画しています。熱中症対策を取りながら実施しますので、ご協力をお願いいたします。

田植えを体験しました。(5年生)

5年生が6月6日(火)、森林組合の前の田んぼで、まちの食農教育の皆さんの協力を得ながら、田植体験をしました。最初に説明を聞いてから、作業が始まりました。広野小学校の5年生といっしょに、一列に並び、昔ながらの方法で張られたロープの目印



の場所に苗を3~5本ずつ1時間ほどかけて手植えをしました。残りの苗は、田植え機に乗せてもらい機械で植えていきました。どの子もハンドルを持つ手は緊張でガチガチになっていました。

お手伝いをしてくださった方からのまとめのお話では「自分の作業を時々振り返ってみること」「たくさん作業があるときは、自分なりの小さなゴールを作っていくことで飽きずに作業が続けられること」が大事と教えていただきました。勉強やスポーツをがんばることにもつながる良いお話を聞かせていただきました。

まちを元気にする活動をしている大人にインタビュー(4年生)

4年生が6月7日(水)、まちを元気にする活動をされている方にインタビューしました。桜花連の方と下分七夕祭りに関わっている方からお話を聞きました。4年生の感想からは、地域を盛り上げようとしている方々の熱い思いが伝わった内容が多くありました。

ある男子児童の感想には「下分七夕祭りに参加して自分にできることをやってみよう」という内容がありました。このような活動を通して、神山を盛り上げる次の世代へのリレーができればいいですね。4年生のすばらしい態度にみなさん感激されていました。



名西郡体育部会の研修会がありました!(3年生)

6月8日(木)、名西郡内各小学校から体育部員の先生方にお集まりいただき3年生の体育の授業を見ていただきました。

マット運動で自分たちで考えながら「マットの端まで移動する」をテーマに、前転や後転を組み合わせたり、つなぎでジャンプしたり、グループで相談しながらいろいろな方法を考えていました。

参観してくださった先生方からは、3年生とは思えないほど「よく考え」「よく話し合い」「よく動く」ことができていたと賞賛のお言葉をいただきました。

私が最も驚いたのは、たくさんの先生方を前にしても臆することなく、堂々と自分の意見や考えを発表できていたことでした。自分の言葉で話せる力は、社会に出ても大切な力ですね。

ザリガニつりに行ってきました。(2年生)



6月26日(月)、2年生がザリガニつりに出かけました。自分たちでつくったつりざおをもって元気に出発。研究したエサで25匹のザリガニをゲット。最後は元の場所へ返してあげました。 ※法令によって、ザリガニは持ち帰って飼育することはできなくなりました。



6月のアリスタイムから(2年生)

6月27日(火)、2年生がアリスタイムの発表をしてきました。生活科で体験したり、調べたりしたことをもとに楽しくクイズ形式で発表してくれました。お接待体験やザリガニつりの中で、考えたことを自分の言葉で話すことができました。聞いていた他の学年の児童も気になったことを、たくさん質問していました。



水遊びや水泳の学習を進めています。

子どもたちはプールをととても楽しみにしています。校長室の前をプールに向かって走る児童の姿に現れています。心配していた梅雨の影響も思ったより少なく、低学年は楽しみながら、中・高学年は泳力向上のめあてを一人一人もって取り組んでいます。

今年は、7月11日(火)に町内水泳能力検定会を開催します。5・6年生は、月・水・金の放課後水泳教室でさらに泳力を伸ばすことや50mのタイムを縮めるために取り組んでいきます。今年度は特別に5・6年全員参加の検定会となります。保護者の皆様の観覧も可能となっていますので、ぜひお越しください。



下分保育所にカレーパーティーに行ってきました!(1年生)

6月14日(月)、1年生が下分保育所のカレーパーティーに招待され行ってきました。昨年自分たちが育てた野菜を使って料理をつくってくれました。下分保育所の園児と一緒にゲームをしたり、楽しく食事をしたりして楽しい時間を過ごしました。音読やハンドベルの演奏など練習の成果を十分に発揮して、「さすが小学1年生」の発表でした。帰るときには「来年小学校で待ってるよ」と優しい声をかけていました。

税の大切さについて学びました!(6年生)



6月9日(金)、町役場税務保険課の、木村課長さん、平嶋さん、北山さんをお迎えし、6年生が租税教室を実施しました。最初に税の種類や使い道を学んだ後、税がなければどんな世界になるのかということを考えられるDVDを見せていただきました。最後には模型の「1億円」を持たせていただき、その重さに驚いていました。質問に答え++している6年生を見ていると、税金についてよく知っている児童が多いことに驚きました。

薬物乱用防止教室を実施しました!(高学年)



6月23日(金)、東部保健福祉局の小笠さんをお迎えし、5、6年生が薬物乱用防止教室を実施しました。様々な資料を使って、薬物依存の怖さについて教えていただきました。児童も真剣な表情でお話を聞いていました。ネット社会の進展によって薬物だけでなく、犯罪が児童に身近になっています。正しい知識と判断力を身に付けることはとても重要なことです。今後も、子どもたちが正しい判断ができる力を伸ばす学習を続けていきます。

校長室から ~自己ベストを出すことについて、子どもたちの自己ベストを見られることについて~

ある放課後、水泳教室で練習を続けていた高学年の児童が私に近づいてきて「校長先生、今日平泳ぎの自己ベストが出ました。」と報告してくれました。50mを泳いだ直後で、苦しいだろうに肩で息をしながら話してくれました。その表情には充実感が溢れていました。私もうれしくなって「やったなあ。次もがんばりよ」と賞賛しました。その児童にとって私の賞賛もうれしかったかもしれません。でも誰も賞賛してくれなくても「自己ベスト」は自分で自分をほめられる大きな力になったことでしょう。「ほめられたいからやる」「何かをもらえるからやる」はいつか限界がやってきます。だからこそ自分の励みになる「自己ベストを設定できる児童」「その自己ベストをめざしてがんばる児童」を発達段階に応じて育てていかないといけないなあと感じた場面でした。

その数日前、放課後の職員室で、子どもたちの自己ベストに興奮気味の大人が数名……。水泳指導をしている教員が児童のタイムと泳げた距離について「誰々が何秒だった。誰々が今日初めて何m泳ぎ切った」と大声でうれしそうに話していました。私たち教員には「授業中」「休み時間」「放課後」など、子どもたちの自己ベストをたくさん見られる幸せがあります。保護者の方も同じですよな。

校長室で「No.1にならなくてもいい。もともと特別なOnly one」を思い出していました。